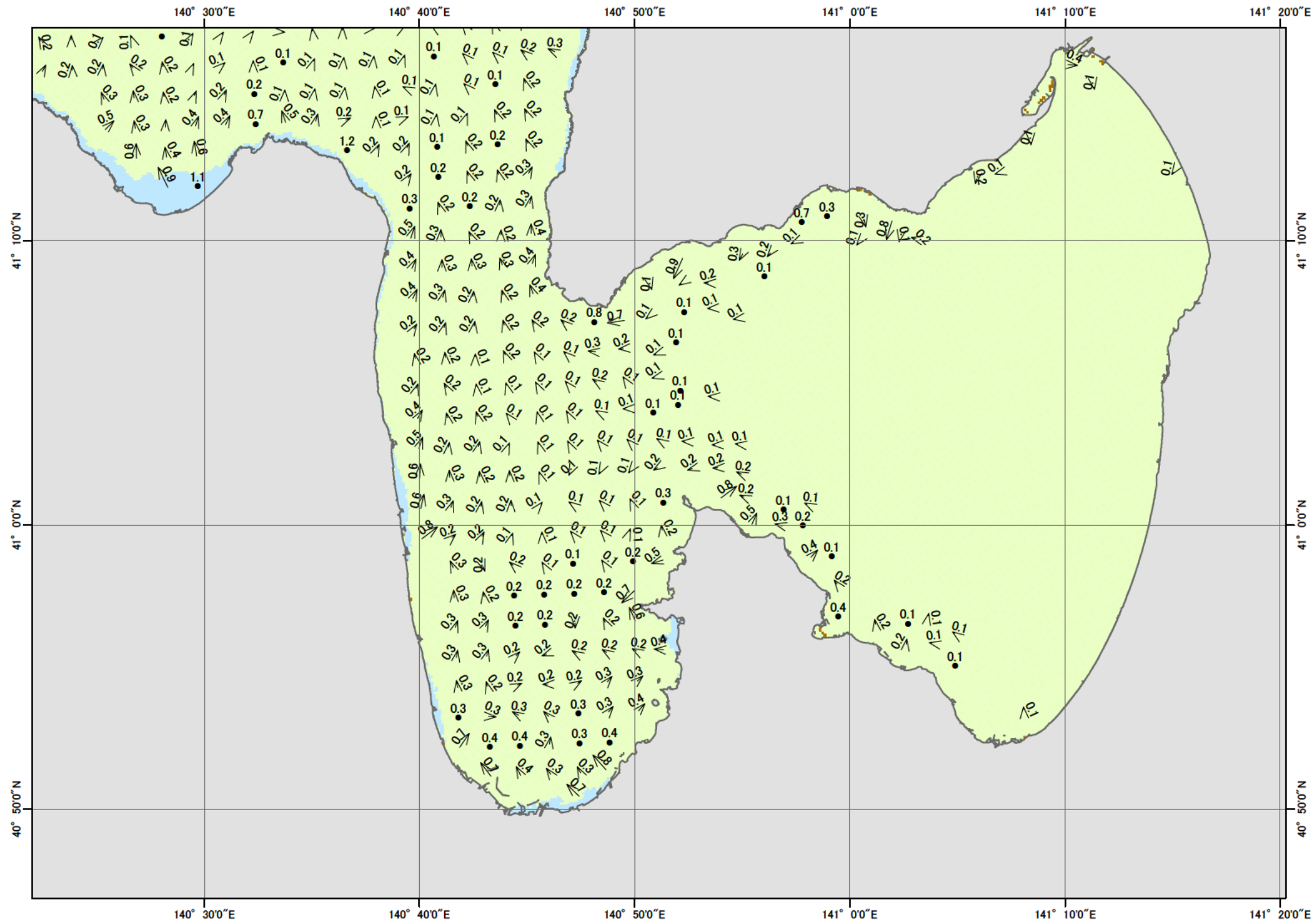




計算条件： 最低水面 (零位)  
隆起量： 平均 0.00m (0.00m ~ 0.01m)  
Zo： 0.37m  
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

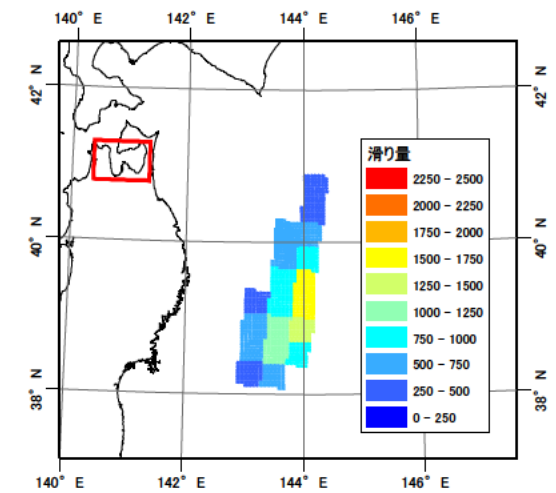


凡例  
最大水位低下  
0.5~最大1.5m  
0.5未満  
干出域  
露出域

引潮時最大流 [knot]  
3 knot  
2 knot  
1 knot

○ 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。  
○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断層モデル



明治三陸地震

モーメントマグニチュード Mw 8.6

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
・海上保安庁が保有する水深データ

